

◆文化課が市の文化財などを分かりやすく紹介◆

とらのまき



れきみん・虎の巻

・第六号・

なるほど!

有形・無形の文化財く幸崎町く

幸崎町出身の清水南山しみずなんざんは、明治から昭和にかけて活躍した近代金工の巨匠です。東京美術学校(現・東京芸術大学)教授や、当時の美術界で最高の名誉とされる帝室技芸員を歴任し、代表作「獅子文香炉」は東京国立博物館に収蔵されています。日本画の巨匠・平山郁夫の大伯父にあたる人物です。資料館では、清水南山の作品(有形文化財)を展示しています。

市重要文化財

(4月5日まで資料館で展示)

彫金ちようきん 養簀文化瓶ようすいもんけいびん



彫金とは、金属の表面を彫る・叩く・埋め込むことで装飾を施す金属工芸の技法です。当作品は、古代中国の神話に登場する怪獣の文様を、清水南山が独自に変化を加え制作しました。



県無形民俗文化財
能地春祭ふとんだんじりのうじ

清水南山のふるさと幸崎町に伝わる幸崎能地春祭りは、常磐神社とことうの祭りです。

通常の神輿みこしに加えてふとんで飾った「だんじり」が登場します。神社などで奉納される獅子太鼓や、勇壮な「ふとんだんじり」のぶつかり合いが見どころです。

令和8年は21日(土)と22日(日)に開催されます。ぜひ行ってみてください。



問 文化課

TEL 0848-64-9234 FAX 0848-67-5912